



私がこの課題の代表者です

九州大学大学院薬学研究院長・薬学府長・薬学部長・主幹教授

おおど しげひろ
大戸 茂弘 先生
Ohdo Shigehiro

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

D1-1 化合物スクリーニング実務支援 など

1988 年愛媛大学大学院医学研究科博士課程修了、1989 年米国南カリフォルニア大学薬学部研究員、2005 年九州大学大学院薬学研究院教授、2014、2016、2020、2022 年同研究院長・学府長・学部長、2018 年同副理事、2021 年主幹教授
趣味：水泳、ジョギング
受賞：臨床薬理研究振興財団賞、学術振興賞、日本薬学会賞、文部科学大臣表彰



今まで主に取り組んできた研究

世界の先駆けともいえるクロノケミカルバイオロジー技術（従来の化合物と生体反応の研究に「時間」という視点を取り入れた新しい学問領域）を駆使して、化合物による時計遺伝子の障害、操作、診断技術の構築に成功した。

現在の取り組み、特に関心のある分野・研究

薬の効き方や薬の動き方に関わるタンパクと薬の相互作用のリズムを体内時計の分子機構の側面より解明、体系化し、時間創薬及び時間育薬の技術を開発すること。

この課題を支援しています



九州大学大学院薬学研究院・教授

にしだ もとひろ
西田 基宏 先生
Nishida Motohiro

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

D1-4 疾患モデルマウスによる薬効評価支援（循環器） など

2001 年東京大学大学院薬学研究科博士課程修了、2001 年自然科学研究機構生理学研究所・助教、2003 年九州大学大学院薬学研究院講師、2006 年同研究院・准教授、2013 年自然科学研究機構生理学研究所・教授、2016 年九州大学大学院薬学研究院・クロスアポイントメント教授（2020 年より主務）
趣味：水泳、飲みにケーション、受賞：文部科学大臣表彰、西日本文化賞、薬理学会学術奨励賞、酸化ストレス学会学術賞、臨床薬理研究振興財団賞、毒性学会日化協 LRI 賞。

今まで主に取り組んできた研究

筋萎縮性疾患の原因となる病態特異的タンパク質間相互作用を同定し、それを選択的に阻害する既承認薬や人工合成ペプチドを見出してきた。

現在の取り組み、特に関心のある分野・研究

硫黄原子が複数連なって形成される超硫黄分子の心臓の頑健性維持における寄与を明らかにし、硫黄循環・代謝を軸にした革新的な医療基盤技術を開発している。

この課題を支援しています



九州大学大学院薬学研究院・教授

まつなが なおや
松永 直哉 先生
Matsunaga Naoya

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

D1-5 疾患モデルマウスによる薬効評価支援（がんモデルでの解析） など

がんをはじめとする慢性炎症性疾患モデル動物を用いた薬効・薬物動態解析および、クライオ電子顕微鏡を用いたタンパク質構造解析の支援を行っております。

九州大学大学院薬学研究院・教授

カアベイロ ホセ

CAAVEIRO Jose 先生

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

D1-7 タンパク質の相互作用解析 など

Ph.D. in Science, UPV/EHU (Spain) 2000, MIT and Brandeis U. (2000~07), The University of Tokyo (2008~17), Kyushu University (2017~). Professor since 2022. Please visit us at <http://global.phar.kyushu-u.ac.jp>.

この課題を支援しています



九州大学大学院薬学研究院・教授

つた まこと
津田 誠 先生
Makoto Tsuda

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

D1-3 疾患モデルマウスによる薬効評価支援（慢性疼痛・掻痒モデルでの解析）

ポストドクから痛みの基礎研究を開始する。その後、グリア細胞の重要性を明らかにし、そのインパクトに魅了され、グリア細胞に注目した疼痛研究を行っている。最近では、かゆみや触覚にも興味をもち研究している。

この課題を支援しています



この課題を支援しています



九州大学大学院薬学研究院・講師

まやなぎ こうた
真柳 浩太 先生
Kouta Mayanagi

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

D1-8 タンパク質クライオ電子顕微鏡構造解析支援

単粒子解析の黎明期を知る者からすると、現在までの驚くべき発展は当時全く想定できておりませんでした。本拠点に最新のクライオ電顕が導入されて1年、なるべく使いやすい環境に整えていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。

この課題を支援しています



九州大学薬学研究院 臨床薬学部門 臨床薬学講座・教授

こやなぎ さとる
小柳 悟 先生
Satoru Koyanagi

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

D1-6 薬物動態解析支援（in vivo）

主に薬物動態解析での支援・高度化を担当。専門領域は時間薬理学・時間治療学。

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

D1-1 化合物スクリーニング実務支援

12 年間にわたるアカデミア創薬と医薬品候補化合物創出の経験を活かし、ハイスループレットスクリーニングやアッセイ系構築などの技術を駆使して、独創的な創薬シーズの発見に貢献させていただきます。

九州大学大学院薬学研究院 創薬構造解析学分野・講師

やました ともひろ
山下 智大 先生
Tomohiro Yamashita

この課題を支援しています

